行財政運営プラン

取組管理シート

基本目標 1 人づくり・組織づくりの強化

	取 組 項 目 名	担当部
1	マンパワー不足への対応及び適正な職員数の検討と定 員適正化計画の策定	総務部
2	人事評価制度の導入	総務部
3	意欲と能力を高める職員研修の実施	総務部
4	意欲と能力を引き出す人事管理の推進	総務部
5	効率的な組織再編の実施	財務部
6	課(室)単位での組織力の向上	総務部・財務部
7	新たな業務改善策の検討・実施	財務部
8	保育サービス向上に向けた保育士適正配置基準の検討	福祉部
9	施設維持事務所の業務のあり方の検討	建設部
1 0	学校用務員のあり方の検討	教育委員会

	行	財政運	営プラ	ン取組	管理シー	ート			2	担当	i部名	総利	务部
基本目標	1	人材・組	.織						3	担当	i課名	人	事課
取組項目名	1	マンパワ [、] の策定	一不足への	対応及び	適正な職員	員数の検討	と定員適	正化計画	1				
						量に見合っ る適正な職						パワー不足	足の解消
(1)取組概要		【主な取れて記録の	組内容】 正化計画の	策定									
			平成2	7年度	・マンバ	パワー不足	の解消						
		前期	平成2	8年度	・マンバ	パワー不足	の解消						
(a) 左鹿叫取如日	51 VS		平成2	9年度	・マンバ	パワー不足	の解消						
(2)年度別取組成	7谷		平成3	0年度	・定員適	0正化計画	の策定						
		後期	平成3	1年度	・定員適	近正化計画	の実施						
			平成3	2年度	・定員適	适正化計画	の実施						
									前 期			後期	
			目標扌	旨標 名			単位	平成27年度	平成28年度		平成30年度	平成31年度	平成32年度
						目標値	_	実施	実施	実施			
		マンパワ	一不足の解	 译		実績値		実施	実施	実施			
() =						達成率	%						
(3)目標指標			u =1 	a		目標値	_				策定	実施	実施
		定員適止(化計画の第	定		実績値	0/						
						達成率	%						
						目標値							
						実績値	%						
(4)現状・背景		り、業務増 これらの派 り、当分の 今後の復	曾に伴う人員 残遣職員等に の間は職員気 更興事業の見	員について は、総務省○ E数の適正○ 見通しから、	は、地方自 の指導によ 化は困難な 、要支援職	ており、復 治に基内 り定と数 りに基 り に と り に と り に と め に と り に り た り た り た り た り た り に り に り に り に	く他団体か 員として管 ている。 クは平成 2	らの職員派 理すること 9年度から	遣及び任期とされてま30年度の	付職員の持 り、震災以 見込みであ	采用等により 以降は定数の あり、平成:) 対応してる O増員を行っ 3 O 年度も耳	きている。 ってきてお
			取組実績										
		平成26年度	今後の課題										
		平成27年度	取組実績		及び民間な	こついては からの派遣							
(5)取組・成果・	運車		今後の課題			ンから、支 敵員の継続							
(O) AAMI HAA		平成28年度	取組実績	職員の いる市町 頼をした	及び民間な	こついては からの派遣	、退職補見	充を超える 対しては、	採用を行・ すべての[った。また 団体を訪問	こ、自治法の 見し、御礼。	派遣をいた 及び派遣約	とだいて 迷続の依
		T 10,20 - 10	今後の課題			ンから、要 5職員の継							
		平成29年度		ただいて		こついては 及び民間か							
		下灰29千度		とから、	現在派遣さ	ンから、要 されている ち政運営に	職員の継絡	売及び新規	脈遣に向い	けた取り組	且みを引き;	続き行いた	

	行		営プラ	ン取組	管理シー	- -			2	担当	i部名	総系	务部	
基本目標	1	人材・組	l織						3	担当	i課名	人事	事課	
取組項目名	2	人事評価	断度の導	入					2					
		適正な	評価に伴う	昇給・昇	格を行うだ	ため、人事	評価制度	を導入する	0.					
(1)取組概要		【主な取・人事評	組内容】 価制度の導	拿入										
			平成2	27年度	・人事評	価制度の	決定・試	行						
		前期	平成2	8年度	・人事評	価制度の	導入							
(2)年度別取組	山内宏		平成2	9年度	・人事評	価システ	ムの本格	·運用						
(4) 平皮別取組	IPJ谷		平成3	0年度	・人事評	猫システ	ムの本格	運用						
		後期	平成3	11年度	・人事評	価システ	ムの本格	運用						
			平成3	2年度	・人事評	価システ	ムの本格	運用						
							277.11		前 期			後期		
			日保力	指標名		目標値	単位	平成27年度 実施	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
		人事評価	制度の決定	至・試行		実績値	_	実施						
						達成率	%							
(3)目標指標		1 -le 37 hre	rtt = = >>4 →			目標値	_	実施	実施					
		人争評価	制度の導力			実績値	%	実施	実施					
						目標値	/0			実施	実施	実施	実施	
		人事評価	システムの)本格運用		実績値	%			実施				
(4) 現状・背景		い状況と 地方公 25日の	なっている 務員の給与)。 Fや昇任に §で可決・	能力、実績 成立し、!	て検討して 責を反映さ 5月14日	せる人事	評価制度の	(導入を盛	り込んだけ))))))))	務員法がス	本年4月	
		平成26年度	取組実績											
		1 7723 1 2	今後の課題											
		平成27年度	取組実績		制度の策定制度を施行	ミは完了し; テする。	たが、試行	行期間を設	けること	ができなか	いった。平	成28年当	á初から	
(5)取組・成果・	• 課題	1772	今後の課題											
(O) ANIEL PAON	WK/AZ	平成28年度	取組実績	人事評価きた。	制度に係る	5システム:	を導入し、	平成28	年度当初。	より人事詞	平価制度を	施行するこ	ことがで	
			今後の課題											
			斯如字 缚	₩#0.0	年度に道7	- 導入した評価制度に係るシステムの本格運用を施行することができた。								
		平成29年度	, ,,_,,	平成 2 8	十段に等り	(した評価)	制度に係る	るシステム	(グ)本俗理)	刊で施1」9	しることか	できた。		

	3	行財政運	営プラ	ン取組	管理シー	ート			2	担当	部名	総和	务部
基本目標	1	人材・組	L織						3	担当	課名	人	事課
取組項目名	3	意欲と能	力を高め	る職員研	F修の実施	į.			3				
							進を図る	ため、「	自己啓発の	促進」、	ГОЈТО)推進」、	「職場外
(1)取組概要		· O J T	督者への意		の推進								
			平成2	7年度	·OJT	ガイドブッ	クの作成						
		前期	平成2	8年度	・管理監 ⁷ ・O J T	督者への意 ガイドブッ	意識啓発等 アクの作成						
(6) 左座叫乐	· 40 ch /55		平成2	9年度	・管理監 ⁷ ・O J T 2	督者への意 ガイドブッ	意識啓発等 ノクの活用						
(2)年度別取	(組内谷		平成3	0年度	· O J T	の推進		の推進					
		後期	平成3	1年度	• O J T	の推進		の推進					
			平成3	2年度	· O J T	の推進		の推進					
			- 	5 無 5			ж п-	7 0	前 期		7 5		
			日標上	目標 名		目標値		平成27年度 271	平成28年度 397	平成29年度 290	^{平成30年度} 実施	^{平成31年度} 実施	^{平成32年度} 実施
		階層別研	修の実施			実績値		267	379	265			
(3)目標指標							%				宇旋	宇旋	実施
(3) 日 (水1日(水		OJT実	施状況の幸	设告		実績値	件	未実施	作成	実施	天旭	天旭	天旭
						達成率	%	宇施	3 担当課名 人事記 3	実施			
		研修計画	に基づく研	高める職員研修の実施	天旭	天旭							
(4)現状・背	토	言える。 ことから において:	中でも職場 、OJTを 求められる する効果的	湯における と積極的に る能力や役	日常業務 推進してい 割は様々	職員個人の を通じての いくことが であり、そ	意欲と能 OJTは 重要であ のすべて	職員研修 る。しか をOJT	の基本であ し、新規採 こより習得	り、職業 用から管 すること	人形成に力 理職層まで は出来ない	てきな影響 ご、それぞ い。このた	を及ぼす れの職階 め、O J
			取組実績										
		平成26年度	今後の課題									を進める	に当たっ
									> TT l/マラ	画に其べる	を	研修の階	層を増や
		平成27年度		すなど職 階層別研	場外研修や 修参加者:	9自己啓発 新規採用	への支援 職員研修	を充実する 39名、-	うことが出 一般職員研	来た。 修(採用3	年目)39年		
		平成27年度		すなど職 階層別研 (主査昇 「自己	場外研修や 修参加者: 格)17名、 啓発の促進	P自己啓発 新規採用 管理者研	への支援 職員研修 修 I (ポ)	を充実する 39名、- スト補佐) 進 、「曜	ことが出 一般職員研 45名、管 機場外研修	来た。 修 (採用3 理者研修] の推進 の	年目)39: I (ポスト の3つを柱	課長) 31:	名
(5)取組・成績	果・課題	平成27年度	今後の課題 取組実績	す階(て で のJTが で で で で で で で で で で で で で	場外研修名: ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ が が が が が が が が が が が が が	A 新管理 「Oこ」 ・	への支援 職員研修 JTの推 とがより (138名受 職員研修)	を充実する 39名(本) 39名(本) 39名(本) 41 42 43 43 43 43 43 44 45 47 47 47 47 47 47 47 47 47 47	らことが出研 一般職員管 45名、管 歳場外研修 はるのかが 「マネ研修 なる職員	来た。 修(採用3 理者研修 I の推進」の 課題である いよい である に に に に に に に に に に に に に に に に に に に	年目)39% I(ポスト D3つを柱 る。 :」(89名引 :目)58名、	課長)31 を進める 受講)の実 一般職員	名 に当たっ E施 o研修Ⅱ
(5)取組・成績	果・課題		今後の課題取組実績	す階(て 「管階(研 て) と別査 自ど T職別用Ⅱ 自ど がへ研名(己の ガへ研名(己の	場修格 啓よ / の修三ポ 啓 名: 、	日本 (日本) 日本 (へ職修 Jと (職修 Jと (職修 Jと がより) (Tがより) (138名研() のより	を 充 39名補 () () () () () () () () () (5 こと が員、 45名 研かが が が は場へ で で で の の の の で の の で の の の で の の の の の の の の の の の の の	来た。 採用3 の採用4 の推進である ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	3年目)39: I(ポスト の3つを柱 る。 [] (89名) E] (89名) (ポスト補 の3つを柱	課長) 31 を進める 受講) の実 一般職員 (佐) 36名	名に当たっ 医施 研修II で管理者
(5)取組・成	果・課題		今後の課題 取組実績 今後の課題 取組実績	す階(て 「管階(研 てク 主階() と別査 自ど JT職別用Ⅱ 自どの 研別用職研昇 己の ガヘ研8(己の効 修研8年)	場修格 啓よ / の修三ポ 啓 名: 、	2. 生き 「理新監」」された。 一口規理、せ の研規督23、せ検 の規督 啓採者 「る計 の採督 の に対替 の に対して の に対して が にが に	へ職修 Jと (職修 Jとる 面職所修 Jとる 面職所 (のよ 名修 王 推りが 名修	を 39名補	5 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 の の る る の る の る の	来修理者の課と、(系研修) (本の課題の課題の課題の課題の課題の課題の課題の課題の課題の課題の課題の課題の課題の	3年目)39:4 11(ポスト 03 つを柱 589名記 158名記 173 つまた、 174 の3 の3 できた、 175 の3 できた、 175 の3 できた、 175 の3 できた。	課長) 31: を進める 受講) 般報名 所佐) 36名 で進力が で進力が で進力が では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	名 に当たっ

	1		営プラ	ン取組	管理シー	- 			2	担当	i部名	総和	务部
基本目標	1	人材・組	L織						3	担当	i課名	人具	事課
取組項目名	4	意欲と能	力を引き	出す人事	「管理の推				4				
		効率的	に業務を写	尾施するた	上め組織力	の向上が必	必要なこと	:から、意	 欲と能力を	 E引き出す	人事管理	を推進する	5.
(1)取組概要		• 中途採	組内容】 視の採用記 用の充実 員の登用も										
		人工物		7年度	・人物重 ・中途採	視の採用診 用の充実 員の登用・							
		前期	平成2	8年度	・人物重 ・中途採	視の採用記 用の充実 員の登用・	大験手法 の	実施					
			平成2	9年度	人物重中途採	視の採用診 用の充実 員の登用・	大験手法の	実施					
(2)年度別取	組内容		平成3	0年度	• 中途採	視の採用診 用の充実 員の登用・							
		後期	平成3	1年度	• 中途採	視の採用診 用の充実 員の登用・							
			平成3	2年度	• 中途採	視の採用診 用の充実 員の登用・							
			l						前 期			後 期	
			目 標 打	旨標 名		目標値	単位	平成27年度 検討	平成28年度 実施	平成29年度 実施	平成30年度 実施		平成32年度 実施
		面接手法	、回数拡力	t		実績値	_	検討	実施	実施	天旭	犬旭	犬爬
(a) [] ###\##						達成率	%			++44-	r++ 1.6 -		
(3)目標指標		効率的で	弾力的な丿	人員配置		目標値 実績値	_		実施実施	実施実施	実施	実施	実施
						達成率	%	1 = 4.1	14 = 1	+++4-	22	名 人事 事管理を推進する 後	22
		女性職員	の登用・酉	記置の拡大	7	目標値 実績値		検討検討	検討 実施	実施実施	22		22
(4) 現状・背景	R	が、モチ したが	ベーション って、人材 づくりが必	ィの向上に オの確保や	こつながり P人材の活	、それが組	1織の活性	:化をもた	らすことと	こなります			
		平成26年度	取組実績 今後の課題	「人材	の確保」	「配置管理 り効果的と	」「人事	評価制度」が課題で、	の3つを あろ	・柱を進め	るに当た・	って、どの	ように連
		平成27年度	取組実績	① 1 次試駅 用者を決定 【上級行政 名、のとよ 【行政】	験において主 検において主 対】 1 次合 合格 2 0 名、 おり合格社 1 次合権 教育職、	采用者を大きなものは、2 830名、2 経験者を対象 3名、2次名	をく上回る つとおり。 2次合格 1 2名 【初 をとした採 合格 4名、	合格者を選 9名、採用 級行政 1 服 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	定し、2次 者17名 次合格20 施した。 【土木】	【中級保育 名、2次台 1次合格4	『士・幼稚』 『格11名、 『名、2次』	國教諭】1 次 採用者4名 }格2名、持	文合格 2 4 公 采用者 1 名
			今後の課題			女性職員の な職員不足					人員配置の	の手法。	
(5)取組・成り	果・課題	平成28年度	取組実績	用者を決定 【上、2次で 名。次で 【行名。 ②次で 【行名。 ②と 【行名。 3平成。 2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、2、	定した。主 文】 1 次合 文】 1 次合 格 1 8 名、 おり社会人 1 次合格 1 8 年 4 月 1	なものは次の 各36名、2 採用者13	Oとおり。 2次合格2 2次合格2 3名 【初泉とした採 合格11名 異動におい	0名、採用 級行政】1 用試験を実 採用者1 て、医療職	者16名 次合格20 施した。 0名 【± 、教育職、	【中級保育名、2次台 木】1次台 保育士を関	『士・幼稚園 介格13名、 介格4名、 : まき、部長	图教諭】1 次 採用者 9 名 2 次合格 1 名 二 人(初)	文合格 2 0 石 ス ス 、採用者 、次長に
			今後の課題	①人事評	価制度と	女性職員のな職員不足	登用・配	置の拡大を	を連携させ	ること。			×
		平成29年度	取組実績	用者を決定 【上級行政 名、2次行政 【行政と 【行政】 ③平成29	定した。主 対】 1 次合 合格 1 2 名、 おり社会人 1 次合格 9 。 9 年 4 月 1	采なると 用もの名をはれる をはれる をなるの験者 をない、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には	Dとおり。 2次合【2名 【2名 【2 2名 【2 2 2 2 3 3 5 4 5 5 6 7 8 8 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8	1名、内定 級行政】1 用試験を名 定者5名職 て、医療職	者6名 【 次合格12 施した。 【建築】1 、教育職、	中級保育士 名、2次台 次合格2名 保育士を関	:・幼稚園 : ・幼稚園 : 格 6 名、F : イ、 2 次合材 : き、部長	数論】 1 次名 内定者 5 名 各 2 名、内気 こ 1 人、次長	合格 2 0 ∈者 2 名
			課長に10人、課長補佐に33人の女性職員を登用した。 (H28年度20%→H29年度25%) 今後の課題 ①人事評価制度と女性職員の登用・配置の拡大を連携させること。 ②定員適正化計画を踏まえた、効率的で弾力的な人員配置の手法。										

	:	行財政運	営プラ	ン取組	管理シ	← }			3	担当	部名	財	務部
基本目標	1	人材・組	L織						2	担当	課名	行政	経営課
取組項目名	5	効率的な	組織再編	の実施					2				
		復興事	業の加速化	ごと効率化	公に業務を	進めるため	、状況に	見合った郊	 効果的な組	 織再編をま	実施する。		
(1)取組概要		【主な取り ・庁内各		組織ヒア	リング等	の状況調査の	の実施						
			平成2	7年度	・庁内名	各部・課に	対する組	1織ヒアリ	ング等の	状況調査	の実施		
		前期	平成2	8年度	・庁内名	各部・課に	対する組	1織ヒアリ	ング等の	状況調査	の実施		
(2)年度別取	組内容		平成2	9年度	・庁内名	各部・課に	対する組	1織ヒアリ	ング等の	状況調査	の実施		
			平成3	0年度	・庁内名	各部・課に	対する組	1織ヒアリ	ング等の	状況調査	の実施		
		後期	平成3	1年度	・庁内名	各部・課に	対する組	1織ヒアリ	ング等の	状況調査	の実施		
			平成3	2年度	・庁内名	各部・課に	対する組	1織ヒアリ			の実施		
			目標扌	旨標 名			単位	平成27年度	前期平成28年度		平成30年度	後 期 平成31年度	平成32年度
		状況調査	の宝施			目標値 実績値	□	1	1	1	1	1	1
		WYDERH II.	·			達成率	%	1	1	1			
(3)目標指標		組織再編	の実施(実	延續値 のみ	r)	目標値 実績値	口	1	_ 1	_ 1	_	_	_
						達成率	%						
						目標値 実績値							
		復興事	業を優先的	に組織の)再編を行	達成率っているが、	% 今後も	復興事業に	合わせた	効率的な組	織の再編	が必要と	なってく
(4)現状·背景	콴	る。 -											
		平成26年度	取組実績										
			今後の課題										
		平成27年度	取組実績	平成28 1 復興 2 生活 3 福祉 4 産業	環境部 :部	「半島技 「環境だ 「子育 ⁻	放射線対策 て支援課	室」を新設 策室」を廃 」を「子育 売市場建設	近 て支援課		・も保育課	!」に分割	
			今後の課題	市立病院	の完成に	伴い、新たフ	な組織の	再編が課題	[となって)	いる。			
(5)取組・成界	果・課題	平成28年度	取組実績	1 半島	部	部 「半島拉 「漁業領 「震災化 「水産記	集落整備 云承推進 果」を「2	課」を復興課」を産業室」を新設水産課」と が産課」と が産業」と	部から改統 だ 「水産基別	編	「室」に分	*割	
			今後の課題	復興事業	の進捗状	況を見据えた	た組織の	再編時期の	検討が必	要である。			
		平成29年度	取組実績	1 復興 2 生活 3 産業	環境部 部 部 事業部	「最終が 「二 「道路ま」 「市街」 「区画駅 「用地名	処分場建設シジカ対対果」を「うき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・<l< td=""><td>惟設策道整課を重変と重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重</td><td>を新設 設と「道」 「区画整理課」 転推進課</td><td>理第1課」 へ名称変 へ統合</td><td>を「市街</td><td>「地整備課」</td><td>へ改編</td></l<>	惟設策道整課を重変と重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重要を重	を新設 設と「道」 「区画整理課」 転推進課	理第1課」 へ名称変 へ統合	を「市街	「地整備課」	へ改編
			今後の課題	復興事業	の進捗状	況を見据え7	た組織の	再編時期の	検討が必	要である。			

	1	·	営プラ	ン取組	管理シ	ート			3	担当		総務部	• 財務部
基本目標	1	人材・組	1織						2	担当	領課名	人事課・彳	_{丁政経営課}
取組項目名	6	課(室)	単位での	組織力の)向上				3				
					*としての					果(室) 単	位で、所属	属長の統制	力や発信
(1)取組概要		【主な取 ・グルー ・所管業	プ制の運用	月方法の見 3実施計画	見直しと運 画、改善計	用指針の第 画及びグル	意定 シープ編成	方針等を	まとめた朗	果(室)別	の年間運営	営方針の策	定
			平成2	7年度	• 各課	-プ制の運 (室) 年間	運営方針	導入に向			制度設計		
		前期	平成2	8年度		-プ制の運 (室) 年間							
(2)年度別取	/組内容		平成2	9年度	・各課	(室) 年間	運営方針	∤の策定、	公表、運	運営実施			
	()ar 1, 1		平成3	0年度	・グルー	-プ制の運	用方法の)見直し					
		後期	平成3	1年度	・グルー	ープ制の運	用方法の	見直し					
			平成3	2年度	・グルー	-プ制の運	用方法の	見直し					
						_	I		前 期			後 期	
			目標技	旨標 名			単位			平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		グループ	制運用指釒	+の筈定		目標値 実績値	策定 未策定	策定 未策定					
			III7€/111日平	I V J K JE		達成率	%	木	水水足				
(3)目標指標						目標値		<u> </u>	全課	全課	全課	全課	全課
		各課(室)年間運営	含方針策定	 三数	実績値	課数	_	全課	全課			
						達成率	%	_					
						目標値							
						実績値							
						達成率	%						
(4) 現状・背景	롡	970	ノ的ツヂ古	「真正の	不明確化、		/ ∃	% (`च°) ठ:	1日1向 0 4 1 1 0	. #0 9 . 'T'	反 ら り は る	儿夫 が至る	K4000
			取組実績										
		平成26年度	今後の課題										
			取組実績	課(室)	単位での組織	織力の向上	については	は、人事課で	で人事評価を	ンステム及	びマニュア	ルの作成を	行った。
(5)取組・成!	里• 趣簡	平成27年度	今後の課題	人員	『制の運用』 ぶあるため <i>』</i>					`けの問題	ではなく、	そこに配	置される
(0) 4()	T WARE	平成28年度		人事評価	制度の導力	入により全	課(室)	で年間目標	票等の設定	を行った。			
		1 从20中段		人事評価	前度の効果	果の検証や	グループ	制のありえ	方について	の検討が	— 必要になる	可能性が	 ある。
		W. Doo be		人事評価	制度の導力	 人により全	課 (室)	で年間目標	 票等の設定	 を行った。			
		平成29年度											

	,	行財政運	営プラ	ン取組	管理シー	ート			3	担当	i部名	財務	务部
基本目標	1	人材・組	L織						2	担当	i課名	行政組	圣営課
取組項目名	7	新たな業	務改善策	の検討・	実施				4				
(1)取組概要		運営プラ	ンの進行管	管理の中で	毎年度、記	転換を目指 課、個人単 応援職員か	位で受け	付け、実家	か性の検証	を行い可能	能な改善策	を逐次実施	色してい
		【主な取り		いらの業務	改善に関	する提案募	集及び周	知					
			平成2	7年度		×応援職員 対運営プラ							
		前期	平成2	8年度	• 行財政	x応援職員 対運営プラ	ンに基づ	く新たな	取組項目	の検討・	追加		
(2)年度別取	組内容		平成2	9年度		x応援職員 対運営プラ							
(=) 1 20,44.0	7,		平成3	0年度	・行財政	文運営プラ	ンに基づ	びく新たな	:取組項目	の検討・	追加		
		後期		31年度	147.4.2	文運営プラ							
			平成3	2年度	・行財政	文運営プラ	ンに基づ	く新たな			追加	/// 11-	
		_	日輝は	指標名			単位	亚成97年度	前期平成28年度		亚战30年度	後期	亚战39年度
						目標値		一一	一 一 一	一 一	一一人	一 一	一 一
			援職員から 実績値のみ		った改善	実績値	項目数	40	17	41			
			大順 匝 • 7 • 7			達成率	%						
(3)目標指標		プランに	追加する親	F規取組項	目数	目標値	項目数		_	_			
		(実績値		1790-00111 20		実績値	%	0	0	0			
						目標値	%	1					
						実績値							
						達成率	%						
(4)現状・背景	콗					善に係る取 業務改善を			, v v				
			取組実績										
		平成26年度	今後の課題										
		平成27年度	取組実績	容を取り 行財政運	まとめた。 営プランに	o改善項目 C基づく新 たため実施	たな取組ュ	頁目の検討	ナ・追加に [、]				
(5)取組・成場	卫・ 無期		今後の課題	募集方法	の検討や捌	是案募集後	の項目内線	容精査が検	討課題と	なっている	,) ₀		
(6) 4(/1)11 14(/2)	T WARES	平成28年度	取組実績		援職員からまとめた。	o改善項目	を募集し	17件の提	案があり、	、その内容	ドを担当課	に照会及び	が検討内
		7 //,20 7/2				数が減少し 今年度の継							必要があ
		平成29年度		から14	項目の計2	対象として 2 3 項目の こよるPTよ	業務(事	务) 改善提	と案がされば	員3名から た。	9項目、	プロパー鞘	
		1 ////////////////////////////////////	今後の課題			数は増加し もあったが							

		行財政運	営プラン	取組管理	里シー	ート			8	担当	部名	福	祉部
基本目標	1	人材・絲	且織						3	担当	課名	子ども	保育課
取組項目名	8	保育サー	ービス向上に	向けた保	育士通	 直正配置基	準の検討	寸	4				
		保育サ	ーービスの充実	₹を図るたと	め、土	曜日午後の	保育に必	公要な保育:	上の適正配	 置基準に	ついて検診	才を行う。	
(1)取組概要		・土曜日	双組内容】 午後保育の核 午後の保育に 午後保育実施	必要な保			を準の検討	t					
			平成27年			午後保育の 午後の保育		保育士の通	 直正配置基	準の検討			
		前期	平成28年			設4か所(± 午後の保育					曜日も平日	日と同様の	開所時間
(2)年度別取	7組内容		平成29年			設4か所(蛇 午後の保育					日本子目の	と同様の開	所時間
(2) 2337	(//21/17/1		平成30年	-度	上曜日年	午後保育実 午後の保育	に必要な	保育士の通	 直正配置基	準の検討(再編計画の	の進行と併	せ検討)
		後期	平成31年			午後保育実 午後の保育			 直正配置基	準の検討(再編計画	の進行と併	せ検討)
			平成32年			午後保育実 午後の保育				準の検討(再編計画の		
			<u></u>						前期			後期	
			目標指	標名			単位	平成27年度					平成32年度
		・土曜日	午後保育の核	鈴討		目標値 実績値 達成率	- %	実施実施	実施実施	実施実施	実施	実施	実施
(3)目標指標		- 上 田 口	午後の保育に	アル西か得る	女 上	目標値		実施	実施	実施	実施	実施	実施
			一世後の休育に		月上	実績値	%	実施	実施	実施			
						目標値	70						
						実績値	%						
(4) 現状・背景	콫	いては、・ すでは、・ がである。 がである。 がでいる。 ないでは、 た。 までいる。 までいる。 はいがいる。 ないできる。 はいがい。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがい。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいる。 はいがいがい。 はいがい。 はいがいがい。 はいがいがい。 はいがいがい。 はいがい。 はいがい。 はいがいがい。 はいがいがい。 はいがいがい。 はいがいがいがいがいがい。 はいがいがいがいがいがい。 はいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが	に一次の に一次の に一次の に一次の での での での での での での での での での で	見を午後0時 き所においっ 女善 計4施ま 対域 計4施実力 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	F30分ま て、り は 利 で は 利 で 保	までとして: 土曜日午後 者アンケー 土曜日も平 育士不足に の年齢層に	おり、過: おり、過: も開びも トな同様 日とり、 エよっては	去に県指導たており、大変実施の上、の開所時間で成28年度に、通常、記	監査によ サービスの 平成28年 とした。 とおいては 忍可保と協議	り指摘を受 り提供に差 を4月からな は、一時期 に求めら え え で も も も も も も も も も も も も も は た も も も も も	けている。 が生じている。 、一時預か 、一時預か れる 基準 が、理解を	。なお、系 へる。 一部 (蛇田 いり事業 準) (国基れが、 で得らが、	公立認可保 日、飯野 休止となっ 以上に保育 かった。
			の施設集約に		業の休	均衡を図る 止をしてお	ため、± 5り、現在	-曜日午後6 (策定を進る	めている	「石巻市公	,	保育所・	
		編計画」			業の休	均衡を図る 止をしてお	ため、± 5り、現在	-曜日午後6 (策定を進る	めている	「石巻市公	,	保育所・	
			の施設集約は		業の休	均衡を図る 止をしてお	ため、± 5り、現在	-曜日午後6 (策定を進る	めている	「石巻市公	,	保育所・	
		編計画」 平成26年度	の施設集約に取組実績 今後の課題		業の休 土確保	均衡を図る 止をして、	ため、土 69、現在 土曜日午	:曜日午後6 第定を進 2 6 6 6 7 8 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	かている	大を進め	ていく。 		こども園再
		編計画」	の施設集約に取組実績 今後の課題	成28年4月17司様の開所	業の休 士確保 から公 時間と	均衡を図る 止をしてよ によって、 立施設(蛇:すること・	ため、土曜日午年日、大田の田田の田田の田田の田田の田田の田田の田田の田田の田田の田田の田田の田田の田	に曜日午後任 全策定を進む 子後保育実力 ・川、須江、 した。	めている 施施設の拡 湊こども	る 計4施	でいく。	ハて、土曜	こども園再
(5)取組・成点	果・課題	福計画」 平成26年度 平成27年度	の施設集約に 取組実績 今後の課題 取組実績 今後の課題 士に のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	成28年4月17司様の開所	業の休保 い時間 保育の いら間	均衡を図るよ 止をしって、、 立施設(蛇・ つ実施や保・ 立施設(蛇・	たり 土曜日 年	に曜日午後任 空策定を進む 一後保育実力 が で が で で で で で で で で で で で で で	めている 施施設の拡 湊こども 時預かり ¹	る 計4施 事業が休止	でいく。	ハて、土曜ハる。	こども園再
(5)取組・成身	果・課題	編計画」 平成26年度	の施設集約に 取組実績 今後の課題 取組実績 平と 今後の課題 土に 取組実績 と」	成28年4月 / 成28年4月 / 司様の開所 曜日の午後	業の休保 い時間保育の 保育の公と	均衡を図るよ 止によって、 立: 立: 立: 立: 立: か実施で保い 立: し)実施や保い かのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	たり 土曜 日本 (正曜日午後後 定曜日午後後 に第定有実力 に第保 でである。 に第により、 にもなり、 にもなり、	かている 施施設の 液 を 下預かり 素 大配置 を 大配置 を で に で に に で に に に に に に に に に に に に に	る 計4施 園 計4施 園 計4施	でいく。 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	ハて、土曜 ハる。 ハて、土曜 とから、-	こども園再
(5) 取組・成身	果・課題	福計画」 平成26年度 平成27年度	の施設集約に 取組実績 今後の課題 取組実績 と 今後の課題 土に 取組実績 平と 今後の課題 事	成28年4月だ 司様の開所 曜日の午後 成28年4月だ 電用の午後	業士 か時 保 い時 保外 い時 保外 いち間 で 公と	均衡を図るま、 立す 立地をしてて、 立すをしてて、 立ずをしてで 一 変に から で で で で で で で で で で で で で で で で で で	たり土電 田で、 育田 士子後 断野 足 6時 断野 と 6 時 断野 と 6 かけ かんり	正曜日午後後 三曜日午を進き 一部でででである。 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 にできます。 一のでは、 にできる。 では、 にできる。 では、 にできる。 にできる。 にいていている。 にいている。 にいている。 にいている。 にいている。 にいている。 にいている。 にいていて	かているが 施施設のが 奏こども を すっり を を すっかり で を で で で で で の で り で り で り の り に り で り に り に り に り に り に り に り に り に	園 計4施 事業が休止 園 計4施 が十分にでが がに影響が	でいく。 :となってい :となってい :となってい :となってい :となってい :となってい	ハて、土曜 ハる。 ハて、土曜 とる。	こども園再

		行財政運	営プラ	ン取組	管理シー	ート			10	担当	部名	建	没部
基本目標	1	人材・組	織						2	担当	課名	道路	第1課
取組項目名	9	施設維持	事務所の	業務のあ	り方の検討	討			2				
(1)取組概要						規模な道路 とから、施						下業も行っ	ており、
(1) 10011111111		【主な取約 ・施設維持		業務のあ	り方の検討	;							
			平成2	7年度	• 施設維	持事務所の	業務のあ	り方の検討	、総合計画	可へ位置づ	け		
		前期	平成2	8年度	• 施設維	持事務所の	業務のあ	り方の検討	、総合計画	可へ位置づ	け		
(6) 左南川西	·如中安		平成2	.9年度	• 施設維	持事務所の	業務のあ	り方の検討	、総合計画	可へ位置づ	け		
(2)年度別取	X組刊谷		平成3	0年度	・人員の	削減、業務	の民間委託	託の実施					
		後期	平成3	31年度	・人員の	削減、業務	の民間委託	託の実施					
			平成3	2年度	・人員の	削減、業務	の民間委託	託の実施					
			!		*				前 期			後 期	
			目標技	指標名		日無店	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
		施設維持事	事務所の業	:務のあり	方の給計	目標値 実績値	_	実施実施					
		250,127	2 22/21 - 214			達成率	%	70,72					
(3)目標指標			目標値 1 1 1								1		
		人員の削減	咸						0	0			
						達成率	%		10	10	10	10	10
		業務の民	間委託(作	業割合)		目標値 実績値	%		10	10	10	10	10
		5/4/55	42/10 (11	, KET 11 /		達成率	%						
(4) 現状・背	景	沿う対応が 今後、が の構築業務 り、その考えら	が困難なといい 脳職者で民突の が困難をのいる が困難をのいる。 が困難をといる。 が困難をといる。 が困難をといる。 が困難をといる。 が困難をといる。 が困難をといる。 が関係をといる。 が関係をといる。 が関係をといる。 がのののでは、 がのののでは、 がのののでは、 がのののでは、 がのののでは、 がのでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がのでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がののでは、 がのでは、 がののでは、 がでは、 がのでは、 がでは、 がのでは、 がでは、 がのでは、 がでは、 がでは、 がのでは、 がでは、 がでがでは、 がでは、 がでは、 がでは、 がでは、 がでは、 がでは、 がでは、 がでは、 がでは、 がでは、 がでは、	況にない。 充が無年度 、託を実路 がら、 がら、 がら、 がら、	ものと考え 場合、作業 に、10年 故、災害等	会等の他講 られること できま作業量 間を目標に の迅速 かっ 設維持事務	から、他 相当の以 の10% 業務移行 的確な対	課において 上に減少す 見合いの金 が完了でき 応が求めら	「も業務の」 「ると見込」 を額である 「るよう対応 いれる業務し	民間委託を まれること 800万円 さすべきと こついては	考えるべきかります。代表のできる、代表を表している。代表を表している。	きである。 替えとなる 算化するこ ら。 もでは、対	システム とによ 処が難し
		位置付ける	を検討して取組実績	いく。	<i></i>								
		平成26年度		道路維	持管理業務	らについて直 いる。補修作							
			取組実績	取組を	推進するた	とめ、関係名	 ・課と協議	を実施し、	課題等に	対する検討	を行った。		
		平成27年度	今後の課題	容の精査ている。	が課題とな 震災の影響	をについて値 さる。補修作 ないより現在	F業遅延等	による事情	女防止の観	点からも民	間委託を	倹討すべき	時期に来
(5)取組・成	果・課題	取組を推進するため、関係各課と協議を実施し、課題等に対する検討を行った。 取組実績 県が実施する道路改良事業に伴い、車庫・倉庫等の移転が生じることから、関係各課とし し、課題等に対する検討を行った										議を実施	
		平成28年度	今後の課題	容の精査 ている。 また、	が課題とな	らについて直 いる。補修作 ないまり現在	F業遅延等	による事情	女防止の観	点からも民	間委託を	倹討すべき	時期に来
			取組実績	取組を県が実	推進するた 施する道路	上め、関係名 3改良事業に 5所も併せて	2件い、車	庫・倉庫等	等の移転が	生じること	から、関係	系各課と協	
		平成29年度	今後の課題	容の精査 ている。 また、	が課題とな 当該業務の	をいてでいる。 なる。補修化 の今後の在り	による事 ^は るうえで、	対防止の観 現状の業	点からも民 務内容の検	間委託を相証と本市に	検討すべき こ適した施	時期に来 設管理計	
			今後の課題	ている。 また、 画の検討	当該業務の を行う必要		方を考え 課の職員	るうえで、 が限られて	現状の業	務内容の検 災害復旧や	証と本市に	こ適した施	設

2 学校用務員のあり方の検討 2 学校用務員を務め効率的な運営を図るため、業務の明確化などを行い、学校用務員のあり方について検討をする。 【主な取組内容		1	[] 則與連	営プラン取	組管理シー	ート			11	担当	部名	教育多	委員会
20 年度用高角構成の参与力の特計 「全校用高的場合の変形の強調を図るため、集高の用途化を多され、平使用高角のあり方について輸出をする。 「土の取出が監」・空柱用高角の素質の明確化や変勢に必要な期待内容を検討・・学校用高角の系質の明確化や変勢に必要な研修内容等を検討・・学校用高角の構成とび認時機関やの監視の機能は、学校用高角の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成30年度・学校用高角の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成30年度・学校用高角の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成30年度・学校用高角の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成30年度・学校用高角の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成30年度・学校用高角の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成30年度・学校用高角の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成30年度・学校用高角の素務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成30年度・学校用高角の素務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 ・学校用高角の業務の明確化を表に必要な研修内容等を検討 ・学校用高角の素務の明確化を表に必要な研修内容等を検討 ・学校用高角の素務の明確化を表に必要な研修内容等を検討 ・学校用高角の素のの機能や変素に必要な研修内容等を検討 ・学校用高角の素のの機能や変素に必要な対解の対象を検討 ・学校用高角の素の表の現底の表の表が研修内容等を検討 ・学校用高角の素の表の現底の表面となる場合の表面とないます。 ・教育など、大変を表面を表して、大変を表面を表していることと、成長強性で多くの対験を発酵と対象を表面を表している。参加したナイでの用を同に対して実技が研修していた。 ・学校用高角質体の一個として、多小中学校の質体の範囲して「防災機能がの使用力能について実技が発音を対すっては、として、要なの制度としてのまかを確認し、大変を表面を表している。参加したナイでの用を同に対して実技を発を表している。 ・学校用高角質体の一個として、重体の期间中に「防災機能が使用力能について対象を表面とない。・学校用高角質体の一個として、重体の期间中に「防災機能が表面とないを表面とない。・学校用高角質体の一個として、重体の期间中に「防災機能が表面とないを表面とない。・学校用高角質体の一個として、重体の期间中に「防災機能が表面とないを表面とないを表面とない。・学校用高角質体の一個として、重体の期间中に「防災機能が表面」と、て、重体の期间中に「防災機能が表面」と対域を対象とないないをないなななななない。・学校用高角質があっているなななななを変し、表面や変形に表面を表面に対象を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を表面を	基本目標	1	人材・組	L織					1	担当	課名	教育絲	総務課
1 本の報知内閣	取組項目名	10	学校用務	員のあり方の	検討				2				
学校用高良の実施の関係化や素値に必要な研修性学等を検討			学校用	務員業務の効率	的な運営を図る	るため、業	務の明確	化などを行	い、学校	 用務員のあ	うり方につ	いて検討る	をする。
1 年度別取組内容 平成29年度 平校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成29年度 平校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成31年度 平校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成32年度 平校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成32年度 平校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平位 中位	(1)取組概要		・学校用	務員の業務の明	確化や業務に必 臨時職員等の配	必要な研修 記置の検討	内容等を	倹討					
2) 年度別版組内容 平成29年度 ・学校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成31年度 ・学校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成32年度 ・学校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成32年度 ・学校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 中域25年度 ・学校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 1 程 程 名 学校用務員の業務の明確化や参照に必要な研修内容等を検討 2 提幅				平成27年度	・学校用	務員の業務	の明確化	や業務に必	必要な研修	内容等を	倹 討		
2) 年税別取組内容 平成30年度 ・学校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 平成32年度 ・学校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 日 源 指 源 名 中域			学校用務員のあり方の検討										
平成20年度 ・学校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討	(2) 在 帝 則 顸	組内宏		平成29年度	・学校用	務員の業務	の明確化	や業務に必	必要な研修	内容等を	倹 討		
平成23年度 ・学校用務員の業務の明確化や業務に必要な研修内容等を検討 日報 管 様	(4) 平反的城	MIT 1 台		平成30年度	・学校用	務員の業務	の明確化	や業務に必	必要な研修	内容等を	 検討		
日標 指 原 名 単位 平成29年度 平成			後期	平成31年度	・学校用	務員の業務	の明確化	や業務に必	必要な研修	内容等を	倹 討		
日 標 指 標 名 日核版 実施				平成32年度	・学校用	務員の業務	の明確化	や業務に必					
学校用務員の業務の明確化や業務に必要権値 - 実施			土 大取組内容										
実施 実施 実施 実施 実施 実施 実施 実施				日標指標	名	日捶結	単位						
お放理・課題 一次の理型 一次の理 一次					化や業務に必		_				天旭	天旭	天旭
3) 目標指標 上線値 実験値 学校用務員の存在が児童・生徒にとって教育的要素をもっていることと、成長過程で多くの知識を習得する児童・生徒たちのお手本となる学校用務員の在り方が今後も重要である。 *教育現場において学校用務員の存在が児童・生徒にとって教育的要素をもっていることと、成長過程で多くの知識を習得する児童・生徒たちのお手本となる学校用務員の在り方が今後も重要である。 *取組実績 で』と難し、防災権連課職員を講師として招き、参加したすべての用務員に対して実技指導を行った。 **安全の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 **取組実績 で数の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 **安全の課題 研修内容のさらなる充実を図り、学校用務員としてのスキルアップを図る。 **安全の課題 研修内容のさらなる充実を図り、学校用務員としてのスキルアップを図る。 **安全の課題 研修内容のさらなる充実を図り、学校用務員としてのスキルアップを図る。 **安全の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 **安全の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 **安全の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 **マ本の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 **マ本の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 **マ本の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 **マ本の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 **マ本の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 **マ本の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 **マ本の事態 学校用務員研修の一般として、要体み期間中に『普通教命講習』を石巻地区広城消防本部において実施し、心肺蘇生及びAEDの使用手順を学んだ。			要な研修	内容等を検討			%		/\/IE	人加區			
遠成率 %6 日標値 日報値 日報値 日報値 日報値 日報値 日報値 日報値 日報値 日報値 日報 日報	(3) 目標指標												
日標値 実験値 速成率 % 数有環場において学校用務員の存在が児童・生徒にとって教育的要素をもっていることと、成長過程で多くの知識 を習得する児童・生徒たちのお手本となる学校用務員の在り力が今後も重要である。 - 一般担実績でより、一般によるのでは、一般によって教育的要素をもっていることと、成長過程で多くの知識 を習得する児童・生徒たちのお手本となる学校用務員の在り力が今後も重要である。 - 一般担実績では、一般により、一般には、一般には、一般には、一般に対して実技指導を行った。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般に対して実技指導を行った。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図り、学校用務員としてのスキルアップを図る。 - 一学校用務員研修の一環として、各小中学校の夏休み期間中に『防災資機材の使用方法について実施し、心肺離生及びAEのでは、一般に対して実技指導を行った。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般に対して実技指導を行った。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般に対して実技指導を行った。 - 一般に対して実技指導を行った。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般に対して実技指導を行った。 - 一般に対して実技指導を行った。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般に対して実技指導を行った。 - 一般の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 - 一般の課題 研修ので表して、夏休み期間中に『普通教命講習』を石巻地区広域消防本部において実施し、心肺離生及びAEDの使用手順を学んだ。 - 一般に対して実技が関係している。 - 一般に対して実技が関係している。 - 一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しているのでは、一般に対しないるのでは、一般に対しているのでは、一般に対しないるのでは、一般に対しないるのでは、一般に対しないるのでは、一般に対しないるのでは、一般に対しないるのでは、一般に対しないるのでは、一般に対しないるのでは、一般に対しないるので													
要検信 達成率 %						達成率	%						
塗成率 % 一						目標値							
教育現場において学校用務員の存在が児童・生徒にとって教育的要素をもっていることと、成長過程で多くの知識を習得する児童・生徒たちのお手本となる学校用務員の作り方が今後も重要である。 取組実績 学校用務員研修の一環として、各小中学校の夏休み期間中に『防災資機材の使用方法について』と題し、防災推進課職員を講師として招き、参加したすべての用務員に対して実技指導を行った。 「中成28年度 学校用務員研修の一環として、夏休み期間中に『普通教命講習』を石巻地区広域消防本部において実施し、心肺蘇生及びAEDの使用手順を学んだ。 「学校用務員研修の一環として、各小中学校の夏休み期間中に『防災資機材の使用方法について実施し、心肺蘇生及びAEDの使用手順を学んだ。 「学校用務員研修の一環として、各小中学校の夏休み期間中に『防災資機材の使用方法について』と題し、防災推進課職員を講師として招き、参加したすべての用務員に対して実技指導を行った。 「学校用務員研修の一環として、各小中学校の夏休み期間中に『防災資機材の使用方法について』と題し、防災推進課職員を講師として招き、参加したすべての用務員に対して実技指導を行った。 「中成28年度 で、一下成28年度 で、一下成28年度 で、一下成28年度 で、一下成28年度 で、「大会の課題 で、「大会の課題」で、「大会の課題 で、「大会の課題」で、「大会の表ので、「大会の表ので、「大会の、「大会ので、「大会の、「大会の、「大会の、「大会の、「大会の、「						実績値							
取組実績 で』と題し、防災推進課職員を講師として招き、参加したすべての用務員に対して実技指導を行った。 「中成26年度 中成27年度 中後の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 取組実績 学校用務員研修の一環として、夏休み期間中に『普通救命講習』を石巻地区広域消防本部において実施し、心肺蘇生及びAEDの使用手順を学んだ。 「中成27年度 中後の課題 研修内容のさらなる充実を図り、学校用務員としてのスキルアップを図る。 「学校用務員研修の一環として、各小中学校の夏休み期間中に『防災資機材の使用方法について』と題し、防災推進課職員を講師として招き、参加したすべての用務員に対して実技指導を行った。 「中成28年度 中後の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 取組実績 「学校用務員研修の一環として、夏休み期間中に『普通救命講習』を石巻地区広域消防本部において実施し、心肺蘇生及びAEDの使用手順を学んだ。	(4)現状・背景	1						,,,,,,		-			
中成29年度								223 W 7 D					
平成27年度 平成27年度 今後の課題 研修内容のさらなる充実を図り、学校用務員としてのスキルアップを図る。 学校用務員研修の一環として、各小中学校の夏休み期間中に『防災資機材の使用方法について』と題し、防災推進課職員を講師として招き、参加したすべての用務員に対して実技指導を行った。 今後の課題 研修内容のさらなる充実を図る。			平成26年度	取組実績 て』 行った	と題し、防災推		て、各小「	中学校の夏					
5)取組・成果・課題 安校用務員研修の一環として、各小中学校の夏休み期間中に『防災資機材の使用方法について』と題し、防災推進課職員を講師として招き、参加したすべての用務員に対して実技指導を行った。 安校の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 安校の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 安校用務員研修の一環として、夏休み期間中に『普通教命講習』を石巻地区広域消防本部において実施し、心肺蘇生及びAEDの使用手順を学んだ。			平成26年度	取組実績でいた。	と題し、防災推 た。	推課職員	て、各小でを講師と「	中学校の夏					
学校用務員研修の一環として、各小中学校の夏休み期間中に『防災資機材の使用方法について』と題し、防災推進課職員を講師として招き、参加したすべての用務員に対して実技指導を行った。 今後の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 「学校用務員研修の一環として、夏休み期間中に『普通教命講習』を石巻地区広域消防本部において実施し、心肺蘇生及びAEDの使用手順を学んだ。			H	取組実績 て』 行った 今後の課題 研作 取組実績 学れてご	と題し、防災推 た。 修内容のさらな 校用務員研修の	推進課職員: なる充実を[て、各小 ^に を講師と 図る。 て、夏休。	中学校の夏 して招き、 み期間中に	参加した	すべての用	務員に対	して実技措	賞を
今後の課題 研修内容のさらなる充実を図る。 学校用務員研修の一環として、夏休み期間中に『普通救命講習』を石巻地区広域消防本部において実施し、心肺蘇生及びAEDの使用手順を学んだ。	(5) 貯糾・成月		H	取組実績 て』 行った 今後の課題 研作 取組実績 学いて:	と題し、防災指 た。 修内容のさらな 校用務員研修の 実施し、心肺藍	£進課職員: ☆る充実を「 ○一環として 茶生及びA	て、各小 ¹ を講師と ¹ 図る。 て、夏休み E Dの使月	中学校の夏 して招き、 シ期間中に サ事順を学	参加した・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	すべての用	務員に対	して実技措	賞を
取組美績 いて実施し、心肺蘇生及びAEDの使用手順を学んだ。 平成29年度	(5) 取組・成界		平成27年度	取組実績 て』 行った 今後の課題 研作 取組実績 デンステータをの課題 研作 取組実績 でごった。	と題し、防災指 た。 修内容のさらな 校用務員、心肺 が を が を が を が を が を が を の さ ら な の が の が ら な の も な り る り る り る り る り を り を り を り を り を り を	能進課職員 なる充実を「)一環として なる充実を「 なる充実を「)一環として なる充実を「	て、各小で を講師を 図る。 て、夏休。 でEDの使り で、各小で	中学校の 夏 して招き、 サ期間間を 関 中学校の を 用 野順を と 夏 で り で り で り で り り り り り り り り り り り	参加した 『普通教』 んだ。 してのス: 休み期間!	すべての用 命講習』を キルアッフ 中に『防災	務員に対 石巻地区 でを図る。	して実技者 広域消防 本使用方法に	ご部にお こつい
	(5) 取組・成身		平成27年度	取組実績 て	と題し、防災推 た。 修内容ののちな 校用務し、かさらな 校東施し、ののの 員のの が必要がある。 を内容ののの が必要がある。 をののである。 とのでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもの	能進課職員 なる充実を「 つ年を及びA」 なる充実を「 の本生及がA」 なる充実を「 の主選職職員」	て、各小で を講師と 図る。 てEDの使り マン、各小い でを講師と	中学校の 夏 して招き、 サ期間間を 関 中学校の を 用 野順を と 夏 で り で り で り で り り り り り り り り り り り	参加した 『普通教』 んだ。 してのス: 休み期間!	すべての用 命講習』を キルアッフ 中に『防災	務員に対 石巻地区 でを図る。	して実技者 広域消防 本使用方法に	ご部にお こつい
	(5)取組・成界		平成27年度平成28年度	取組実績 て	と題し、防災推 た。 修内容ののである。 校実を内容のの研のである。 を内容ののである。 を内容ののである。 を内容ののである。 をのでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでものでもの	経進課職員: なる元 環及 とび 実 と し 入 を に し ま と で ま と で ま と で ま と で ま と で ま と で ま と で ま と で ま と で ま と で ま と で ま と で ま と で こ こ ・ こ ・ こ ・ ・ こ ・ こ ・ こ ・ こ ・ こ ・ こ	で、各小と「な講師を対する。」では、各小と「な」では、各小と「図ののののでは、一般を対する。」では、「ない、「ない」では、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない」では、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない、「ない	中 一 中 で で で で で で で で で で で で で	参加した 『普通 が してのス: 体参加した・ 『普通教	すべての用 命講習』を キルアッフ 中に『防災 すべての用	務員に対 石巻地区 でを図る。 資機材の対 の 務員に対	広域消防 ⁴ 使用方法に して実技指	本部にお こつい 音導を